

## 武漢事務所週刊ニュース(2014年10月11日～17日)

### 海南省から60社が武漢農業博覧会へ初参加

10月16日 湖北日報

10月16日、海南省政府は武漢市農業博覧会実行委員会宛に正式な手紙を出し、海南省のトップ企業60社の団体が11月1日から3日まで開かれる第11回中国武漢農業博覧会へ参加することを伝えた。

湖南省政府が率いるこの団体は、湖南省農業庁や省・市・県の農業部門、トップ企業など140人もの出展団体により構成されるもので、同博覧会で最も規模が大きい団体である。

海南省のための農業特別プレゼンテーションや海南国家熱帯農業基地についての特別投資商談会など、様々なイベントが11月1日に、武漢国際会議展覽センターにて開催される。

海南省農業庁市場処張処長によると、武漢農業博覧会は中国の三大農業展示会の一つで、同博覧会を通じて、海南省の農産物の展示販売等によるPRと販路開拓、需要促進を行う。

### 武漢は2年以内に商圈17箇所増設

10月16日 長江ネット

昨日、グローバル総合不動産アドバイザー会社DTZが発表した

2014 年度第 3 四半期報告書によると、これから先 2 年間、武漢市は従来の武漢広場、江漢路など 8 大商圈のほか、後湖や南湖、王家敦など 9 箇所で新たに商圈(270 万㎡)が形成される見込み。

新たに増設した商圈(270 万㎡)の 74.2%は不動産会社、9.7%は外資系企業、16.1%は地元の小売業者によるものである。「今回発表した第 3 四半期報告書は、武漢国土資源局や家屋管理局、DTZ 研究部からのデータによるもの」と DTZ 武漢・長沙支社の総経理黄広平氏が語った。

国慶節の間、徐東商業エリアの「群星城」ショッピングセンターがオープンし、初日の来場者数は 30 万人を超えた。これは地元の不動産会社が商業へ転換する代表的な成功事例である。また、9 月にオープンした IKEA(イケア)は観光地よりも人気が高く、大勢の人が押し寄せ、30 分待ちが当たり前。黄広平氏によると、新しくオープンした商業施設は、顧客の消費体験を重視しており、芸術やスポーツ、エコー、スマート要素などを取り入れる。

武漢で商業エリアが 2 年以内一気に増えると、供給過剰に陥る懸念がないかという質問に対し、「武漢は潜在的な購買力を持った巨大な消費市場です。お客様のニーズに応じた特色のある商業施設なら供給過剰にはならない。逆に、消費力は一定程度で抑制されていて」と DTZ の専門家が答えた。

2007 年から、武漢市の消費額は年々安定的に成長しており、2013 年に 4000 億元(約 7 兆 6000 億円 1 元=19 円で計算)近くにも達し、

